

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:2021 年 3 月 12 日

事業所名 チャイルド・ホープ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	○				
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・特に支援が必要な児童に対しては、1日通してその児童を見る体制をとっているため規定の職員数より多く配置している点が工夫している点。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			・重度の身体障害のある児童はいないが、上がり口に高めの段差があるので、手すりをつけられればと思っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○			・ほとんどが非常勤務なので、話し合う時間を長時間とることがなかなか出来ないのも、アンケートをとる形でPDCAサイクルに広く職員が参画出来る様にしようと思っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・アンケート結果を職員に配布して話し合いを持ち共有している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ブログや配布物で公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			・相談支援専門員の方々にモニタリングや担当者会議の際ご意見を頂いているが、もっと広く外部評価をいただこうと思っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・課題を客観的に捉えるため、記録を○×式にして、分析しやすいようにして、放課後等デイサービスの計画書を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○			・ほとんどが非常勤勤務なので、話し合う時間を長時間とるのは難しいため、アンケートをとり、みんなの意見を吸い上げる努力をしようと思っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・非常勤勤務の方がほとんどなので、支援終了後に時間をとることがむずかしいので、記録を○×式にして児童の様子を客観的に把握できるようにしている、また、備考欄ももうけているので、それを児発管が見て各職員と話し合っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			同上	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・すべて児発管が出席して、そのたび毎に会議に参加する職員が変わらないようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			・研修が午後が多く、送迎人員がたり無いため、参加回数は少なくなっているため、求人方法を再検討したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			・夏休みなどは早めに動いて障害のない子供と活動する機会を増やしたいと思っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		・今後は計画的に進めたいと思っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・問題がある児童のところには児発管が即時に自宅への送りをしてその保護者と面談してコミュニケーションをとり、保護者の支援を行っている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			同上		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・ご契約の際1時間30分ほどかけて様々な説明をし、その後お問い合わせ等には即時に回答している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			28に同じ。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・毎年2回は定期的に保護者会を開いている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・必ずその日のうちに何らかの回答をし、詳細な回答も数日中に行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・ブログを少なくとも週1～2回子供達の様子を写真入で(前もって許可を得た児童のみ)活動内容を紹介したり、スケジュールを連絡したり、毎月のカレンダーは紙ベースで配布している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・自然保護のボランティア活動を行って地域に開かれた運営を行っている。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・年に1回は再検討したマニュアル作り、職員で共有して、また、保護者にも配布をしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			・年に2回消火・避難訓練をしている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。